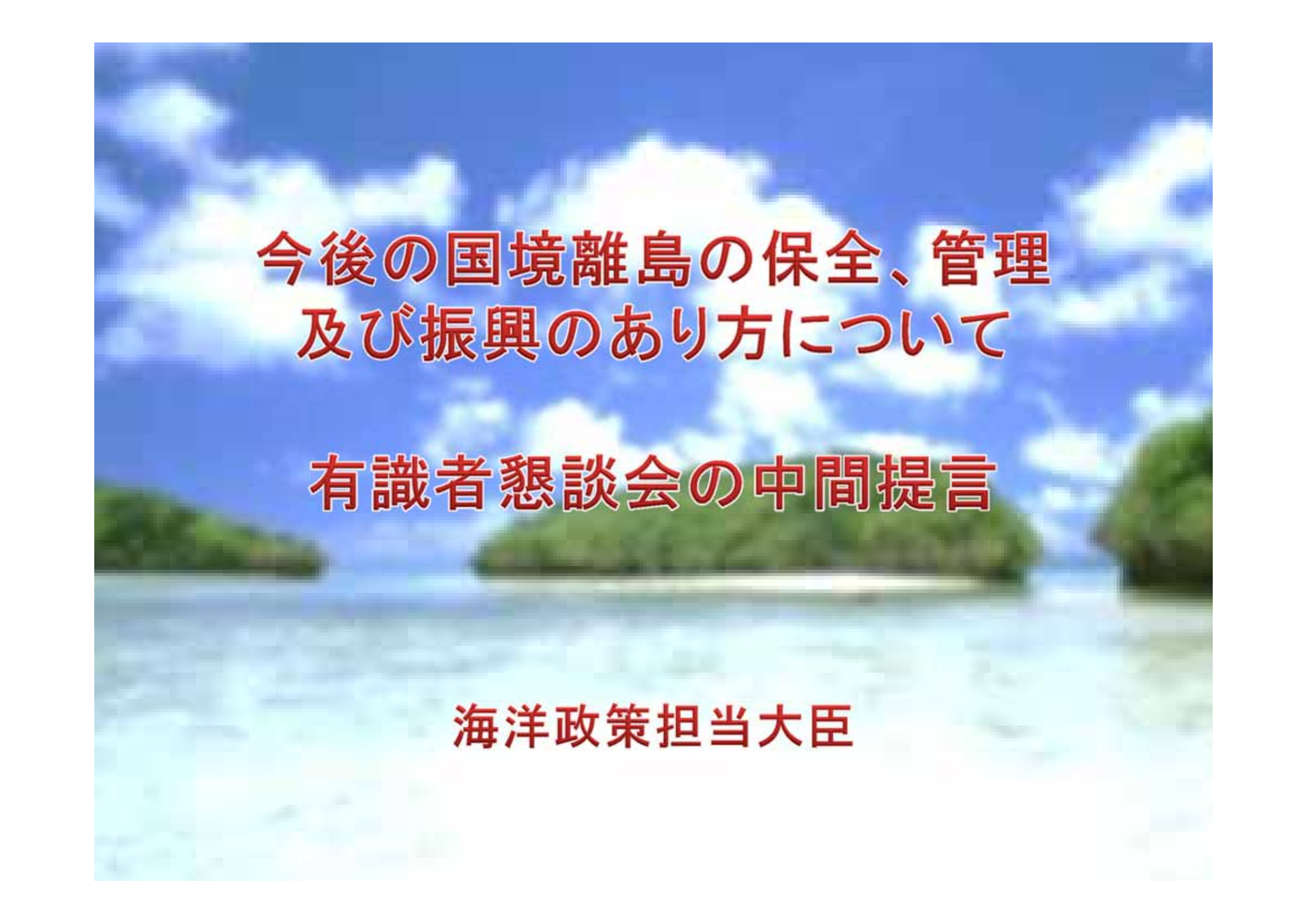


山本大臣閣議後会見

平成25年6月28日



今後の国境離島の保全、管理
及び振興のあり方について

有識者懇談会の中間提言

海洋政策担当大臣

海上に存在する離島

海洋資源の
活用基盤

安全保障上
の拠点

海洋環境の適
切な保全

広大な管轄海
域の根拠

海洋管理に当たり、
国境離島は極めて重要

国境離島の役割を明確にし、
保全管理を行うことが重要な課題

我が国の管轄海域



有識者懇談会の開催

検討事項

- (1) これまでの国境離島の保全、管理及び振興に関する政策の実施状況並びにその評価
- (2) (1) を踏まえた今後の国境離島に関する施策の検討
- (3) 提言の取りまとめ

開催実績

第1回	4月26日	第2回	5月20日
第3回	6月3日	第4回	6月12日
第5回	6月26日	 中間提言	

委員の方々

秋山 昌廣

(公財)東京財団理事長

磯部 力

國學院大學法科大学院教授

奥脇 直也

明治大学法科大学院教授

【座長】

木場 弘子

キャスター・千葉大学客員教授

久保 文明

東京大学大学院法学政治学研究科教授

志方 俊之

帝京大学法学部教授

渡邊 東

(公財)日本離島センター専務理事

五十音順、敬称略

中間提言の内容

1. 離島を巡る情勢

- 離島の現状
- 離島を巡る社会情勢等の変化

2. 既存の離島施策の点検・評価

- 離島の保全、管理
- 離島の振興
- その他の関連施策

3. 離島の保全、管理、振興に関する地域の課題

- 全国離島振興協議会会長よりヒアリング

4. 検討対象とする離島

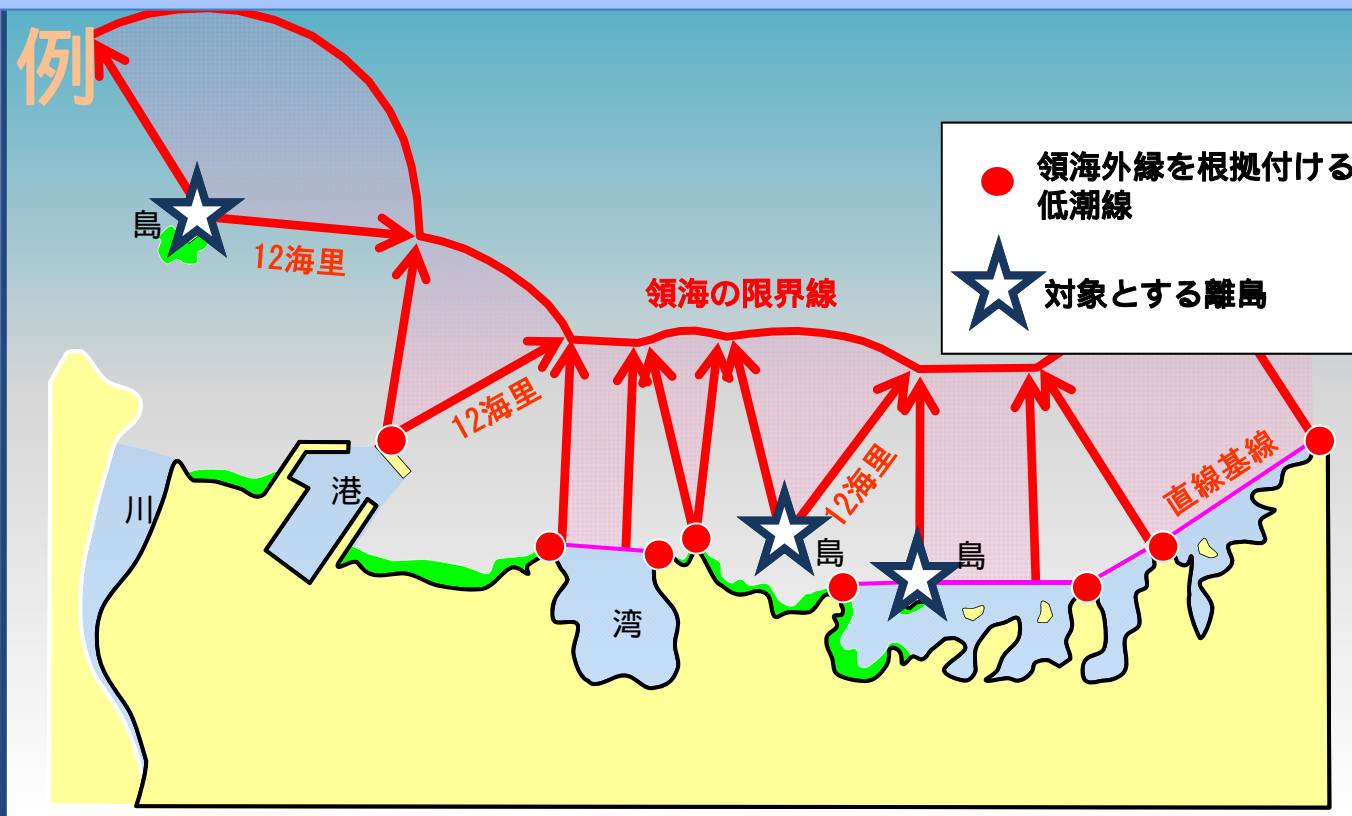
- 国境離島の役割
- 対象離島

5. 今後の検討の方向性

- 直ちに実施すべき事項
- 最終提言に向けて更に検討する事項

今後施策を講ずべき離島

領海外縁を根拠付ける低潮線を有する離島



EEZ外縁を根拠付ける低潮線を有する離島に引き続き、これらの島に対してどのような措置が必要かを検討

今後の検討の方向性

直ちに実施すべき事項

- 保全、管理すべき離島の基本情報の収集
 - >> 位置、面積、自然環境、周辺海域の資源ポテンシャル等を調査
- 領海外縁を根拠付ける離島の土地の所有者の把握
 - >> 土地の所有者の確認を推進
 - >> 所有者情報を有する関係省庁による連絡会議を設置
- 領海外縁を根拠付ける離島のうち、名称のない離島の名称付与
 - >> 海図に名称が記載されていない島について、地図との整合を図り、名前を付け、海図等に記載

今後の検討の方向性

最終提言に向けて、更に検討していく事項

- 土地の所有者の継続的な把握
 - >> 土地所有者、権利移動を継続的に把握する仕組みを検討
- 国境離島の保全、管理の強化
 - >> 対象の離島にも、見回りや看板の設置等の措置を検討
- 無主の土地の国有化
 - >> 対象の離島も、無主の土地の台帳への登録を検討
- 土地の保全、管理に必要な仕組みについての検討
 - >> 所有者に対し、適切に保全するための行為規制、土地取引規制等の仕組みを検討
 - >> 行為規制等を課す場合には、新たな法制化が必要